

知財の広場

「知財インテリジェンスサービスの紹介」

読者の皆様は、良いアイデアを思いついたら、似たような技術が公開されていないか、侵害予防すべき権利が存在していないかなどを調査されているかと思えます。

お馴染みの J-Plat Pat は、無料で安心して使用できる検索システムです。しかしながら、Fターム、F I などを利用した検索を実行するためには、技術分野ごとに検索ノウハウを身につける必要があると思います。さらに、検索した文献の内容を逐次読み込み、検索結果の中から思いついたアイデアと最も類似している文献を探し出すのは大変な作業であると思います。

このように先行文献調査に対するお悩みをお持ちの方が、多いのではないかと思います。

『簡単に短時間に先行文献調査ができないものか・・・』という読者の皆様の声が聞こえてくるような気がします。

もし、思いついたアイデアを文書で入力したら、それに近い公開公報を自動で検索してくれるシステムがあればと感じたことはありませんか？

こんな悩みを解決してくれそうな自動検索ソフトが特許庁ホームページの中の知財インテリジェンスサービス一覧というタイトルのページに掲載されていますので紹介します。

掲載されているサービスは、人工知能を応用して特許情報を分析するものですが、一番目に紹介されている VALUENEX 株式会社製の製品は、技術内容をテキストで表現して入力すると、入力文書に類似した公開公報を類似度が高いものから 100 件収集してくれます。検索結果は、類似度が高い公開公報ほどレーダーチャートの中心位置にプロット表示されます。

アイデアを簡単な短文で入力することで類似する先行文献を人工知能が実行してくれるようです。さらに、日本の公開公報、米国の公開公報の先行調査もできます。J-Plat Pat にもこのような人工知能が応用された機能が付加され、先行調査の負荷が軽減されることを期待します。なお、ご利用される際は、特許庁 HP (<https://www.jpo.go.jp/support/general/ip-intelligence/index.html>) 上の使用上の注意事項を必ずご一読・ご理解の上、使用の可否を判断してください。

川東 孝至(知財ナビゲーター)